

平成 22 年度道路交通センサス一般交通量調査結果の分析について（報告）

| | | |
|-------|------|--------|
| 道路建設課 | 課長 | ◎照屋正史 |
| | 課長補佐 | 堀康雄 |
| | 調査係長 | 伊芸誠一郎 |
| | 調査係員 | ○譜久里茂一 |

1. 目的

本報告は、H 22 年度に全国一斉に実施された道路交通センサス一般交通量調査について沖縄県内の状況について報告するものである。

2. 内容

- 沖縄ブロック全体の傾向
 - ・平日昼間 12 h 交通量
 - ・ピーク時間交通量
 - ・平均交通量の推移
 - ・交通量増減区間の分布
 - ・混雑時旅行速度の推移
 - ・開通路線及び地域開発による影響分析
 - ・無料化社会実験による影響分析

3. 結論

- 全国が前回センサス（H 17 年度）と比較すると全般的に減少傾向である一方、当県は増加傾向
- H 17 年度以降供用した路線の影響により交通状況の改善が見られる区間がある一方、地域開発により新たな交通量の増加が発生
- 無料化社会実験により沖縄自動車道、一般道の利用形態が大きく変化

4. 今後の問題点

- 無料化社会実験（H 22 年度センサス）以降の道路利用形態の変化把握